

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:平成 31年 3月 5日

事業所名 運動療育のきらめき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	指導室のスペースで十分の運動量を取り入れられるメニューの工夫を行い、外での活動も取り入れることで児童の運動量を確保しております。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	コーチ1人に対してお子様2人までで定員の制限を行うことで一人ひとりに合わせた支援を行っております。また、事業所内や外部での研修に参加することで専門性の向上に常に努めております。	送迎時間中に限られた時間ではあるがコーチの人数が手薄になることがあるため4月より人員を増やして対応していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	はじまりの会で一日の見通しが分かりやすいように視覚支援を用いながら伝えたり、集中が妨げられるような視覚刺激を極力減らすなど様々な環境配慮を行っております。弊所は、運動療育を行う事業所で手すりを設置することによるよじ登り、衝突などを避けるため、指導訓練室には手すりの設置を行っておりません。また、入口から指導訓練室までに段差などもなく、バリアフリー化されている為スロープの設置も行っておりません。	トイレには少し段差があるためマットなどを敷き詰めて段差を埋めるようにします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日清掃を徹底し、使うおもちゃなどの殺菌消毒も行っております。怪我の予防や集中の妨げにならないよう、活動で使う物はその都度出したり片付けたりするなど極力活動スペースに置かないように配慮しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	毎月の全員参加会議で事業所運営や支援方法などの課題を出し合い、改善策を出しその結果を分析しより良い支援を追求し続けています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	評価表に加え、毎月の会報にご要望をいただく項目を設け常に意見を募り、それに対してできる限りの対応を考え実践することを続けています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	評価表の結果を踏まえて自己評価を行い、その評価結果は、ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		外部評価は、実践できていません。今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月の自社で研修を行うとともに、外部の研修に参加したり、施設見学を行うなど常に自己研鑽の機会を提供し続けています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	アセスメントを面談やアンケートで行い、ニーズや課題を分析した上で長所を伸ばすことを意識した児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	標準化されたアセスメントツールを使用しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	子どもの欲求を適切に満たしながら、応答的な触れあいや言葉かけを行っています。 また、子どもの気持ちを受容し、共感しながら、継続的な信頼関係を築き長所を伸ばしていくことで自己肯定感を高め自発的な行動を促すことができるように支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	児童発達支援計画にある一人ひとりの課題を子ども達が楽しみながら解決できるような運動メニュー、多種多様な活動を日々考案して提供しております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	プログラムの実施を行うリーダーを中心に皆でアイデアやメニューを持ち寄り実践しながら常にブラッシュアップを行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	毎回全く違う内容だと戸惑ってしまうお子様の特性を考慮しながらも基本的動作に必要なメニューは継続しつつ、日々新しいメニューを取り入れ現在では200を超える運動メニューの中から日々療育活動を行っております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	集団活動が苦手なお子様には個別でも活動できるように工夫を凝らしながら児童発達支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	送迎担当者もいるので全員が揃っての打ち合わせが実施できていませんが、その日の支援内容や役割分担、利用児童の気をつけるべき点や個別支援計画を確認しています。その内容を送迎担当者とも共有を行っています。	送迎担当者も参加できる機会を増やせるように対応していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	送迎担当者もいるので全員が揃っての打ち合わせが実施できていませんが、その日の児童の様子や良かった点、課題になった点などを共有しています。	送迎担当者も参加できる機会を増やせるように対応していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日誌やモニタリングで記録を日々取ることで支援の検証・改善につなげています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	定期的にモニタリングを行い、そちらを保護者様に報告した上でニーズを聞くことで常に計画の見直しの必要性を判断しています。	
	関係 機関	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画するようにしています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	全員ではないものの特に連携が必要な児童に関して連携を行っています。	全ての児童に関して連携を取れているわけではないのでより連携を強化していけるように心がけます。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0		医療的ケアが必要な児童の受入を行っていません。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		医療的ケアが必要な児童の受入を行っていません。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	送迎時の情報交換や先生に弊所へお越しいただいたり、こちらからご訪問させていただくなどして情報共有と相互理解を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3		これから進学される学校と情報共有や相互理解を図っていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	エルム大阪さんの研修に参加させていただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	公園での活動時に障がいのないお子様と一緒に活動する機会があります。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	社会福祉協議会で主催されているおもちゃ図書館に毎月1回参加させていただいています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	短所に目を向けそばかりを改善しようとするのではなく、お子様一人一人の長所を見出し、楽しみながら伸ばすことで短所も改善していくという療育理念の下、日頃のご報告では基本的にその日のお子様の良かった点をお伝えさせていただいています。支援計画作成に関する面談時には、目標に対してできたこと、課題として残ったことをご報告させていただきお子様の状況や課題を保護者様と共通理解ができるよう心がけています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	保護者様の対応力向上や保護者様同士の繋がりのためにママキラ会を定期的ですが、開催しています。過去には☆障がいの理解と支援、☆運動療育とは、☆感覚統合、☆ペアレント・トレーニングなど様々なテーマで開催させていただきました。ご希望の方にはその資料もお渡ししたり、ホームページに開示して参考にさせていただいています。	
保護者	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に重要事項説明書の中で1時間ほどの時間をかけてご説明させていただいています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	児童発達支援の提供すべき支援のねらいの中で私達の運動療育では、1.【健康・生活】、2.【運動・感覚】はもちろんのこと3.【認知・行動】、4.【言語・コミュニケーション】、5.【人間関係・社会性】も多種多様な運動刺激を受けられる運動メニューやチームでの運動によって人間関係やコミュニケーションが養われるなど全てのねらいを満たすことができるようになっています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	支援計画作成時に面談のお時間をいただき、お話を伺いながら必要な場合は助言も行わせていただいております。また、ご利用時にもご様子をご報告しながら必要な際は助言を行わせていただいております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	ママキラ会という保護者会を不定期ながら開催しております。先月は将来の自立や2次障がいに関するお話を聴き、お子様が作った餃子を保護者様と一緒に食べるママキラ会を開催しました。保護者様同士の繋がり、相談しあえる環境をこれからも提供し続けていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
への説明責任等	36	5	0	ご相談をご希望される際は、随時受け付けておりますのでどんな些細なことでも結構です。お気軽に申し付けください。また電話の受付が9時～18時までですが緊急を要するご連絡などはLINEでいただくこともできるようになっております。	
	37	5	0	きらめき便りを毎月発行させていただき、行事予定や活動概要を発信させていただいております。他にもブログでも活動の様子をご覧いただけます。また、評価結果はホームページで掲示させていただいております。利用予定表や送迎スケジュールに関しては個別に配布させていただいております。	
	38	5	0	個人情報に関するものは鍵付きの書庫で保管しており、従業員にも個人情報に関する研修を行い、署名を取って厳重に取扱っています。	
	39	5	0	絵カードや字で書くなど視覚支援を使うなど環境配慮を行っています。またオンラインアルバムで活動の様子を自宅にいながら見ていただけるサービスも行っております。	
	40	0	5		まだ、実施はできていませんが11月に地域の方にもご参加いただける運動会を開催する予定しております。また、地域のご老人に野菜作りを教えていただくなどの取り組みも実施していく予定です。
非常時等の対応	41	5	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、これらに基づきスタッフは、研修・訓練を行っております。内容につきましては、内容量が多いこともあり、ホームページに掲載しています。発生を想定した訓練も実施しております。	
	42	3	2	訓練を消防署の方にお越しいただき実施し、次回は4月を予定しています。	
	43	5	0	アセスメントで服薬や予防接種、てんかん発作等の状況は把握し、対応しています。	
	44	5	0	食物アレルギーについてもアセスメントを取って対応していますが、医師の指示書まではいただけていません。	
	45	5	0	ヒヤリハットなどのケースがあった場合は、必ず書類を作成して全従業員に共有して再発防止の対策を講じることを研修で共有しています。	
	46	5	0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	
	47	0	5	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて研修でも共有はしているが、児童発達支援計画に記載ができていません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。